

志村小学校・志村第四中学校小中一貫型学校 改築計画の基本設計について

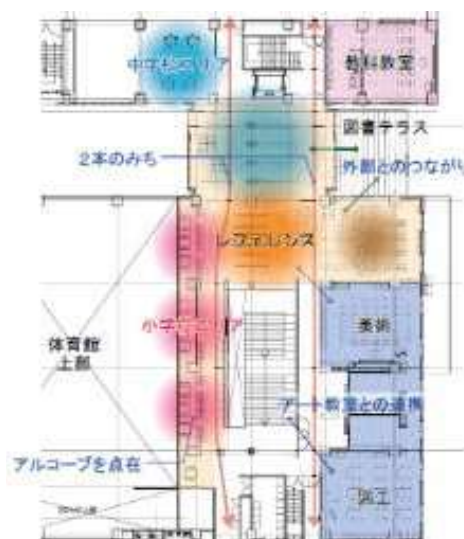
「いたばし魅力ある学校づくりプラン」前期計画第2期対象校である志村小学校については、現在地での改築が困難であることから、小中一貫教育推進の視点を取り入れ、志村小学校と志村第四中学校を施設一体の小中一貫型の学校として、志村第四中学校の敷地に整備を進めていくこととなった。整備事業を進める上での基本的な考え方や指針を示した基本構想・基本計画を令和4年7月に策定し、その後、委託事業者の協力を受け、設計を進めていた。この度、両校の基本設計図書をまとめたので報告する。

1 設計コンセプト

～別紙 P2～

1 小中をつなぐ「本の森」学校図書館

- 小学校と中学校の間全体が学校図書館
学校と図書館を2本のみちでつなぐ
- いつでも本に触れるオープンな図書館
様々な本との出会いの場を工夫
- 教科との連携、移動書架でのサービス
「絵本のまち板橋」としてアート系教室と連携



【図書館まわり概念図】



【特別支援学級配置図】

2 インクルーシブ教育への展開

- 異学年や地域とつながる特別支援学級の配置
ものづくりや運動を通じての交流
- 情緒障害に配慮した「静と動」のゾーニング
音に配慮した落ち着いた環境づくり
- オールジェンダーに配慮したトイレ
男女共用個室トイレを複数設置

3 「主体な学び」を育む教育空間

- 教科センター
を進化させた中学校舎
- 学年ごとの
オープンスペースの充実
- 各学年や教科ごと
に教師コーナーを配置



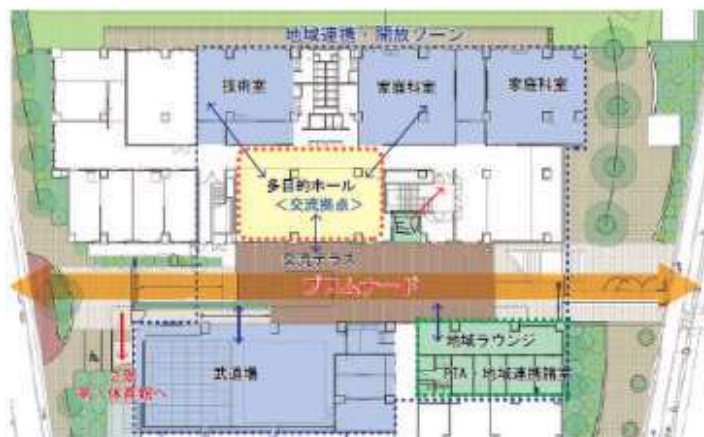
【生徒ラウンジイメージ】



【中学校校舎部分平面図】

4 「地域連携・地域防災」の拠点となるプロムナード

- 地域ラウンジ、特別教室を
配置した地域開放施設の充実
- 中学生、小学生、地域の交流
ができる日常のふれあいの場
- 2階体育館に階段・EVでアク
セスでき、防災時の拠点とな
る安心できる難所



【プロムナード概念図】

5 教職員の活動場所の充実

- 教職員の2つの拠点「職員室」と「教師コーナー」を設置
- 職員室のフリーアドレス化による執務空間と交流空間の充実
- 相談、執務、教材作成などが行える教科教室に近接した「教師コーナー」

6 ZEB化と環境教育を両立した校舎

- ZEB化を実現する高断熱、低負荷の建築空間
- 配管口スを極小化した屋内外の機器配置
- 分かりやすく自然に学べる環境教育の実現コーナー

1) 計画規模

	校舎棟	
高さ	約 24.3m	
階数	5	
耐火性能	耐火構造	
構造種別	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造	
基礎	既成コンクリート杭	
敷地面積	13,833 m ²	
建築面積 / 建ぺい率	1,555 m ²	34.16%
床面積 / 容積率	17,804 m ²	129.83%

※今後の検討等により、数値に変更が生じる可能性があります。



【 配置ゾーニング概念 】

2) 配置計画の考え方

考え方 1 : 通学の安全性や敷地の有効活用に配慮した建物計画

- 敷地中央に校舎、北側にグラウンド、南側に広場を配置
- 日常的な給食搬入や来客用の車両動線は西側道路側からとし、歩車分離
※災害時やイベント開催時は、グラウンドや広場への乗入れが可能

考え方 2 : 「地域連携／地域防災」の拠点となるプロムナード

- 敷地西側と東側をつなぐ「プロムナード」
- 交流テラスや多目的スペースを設け、子どもや地域の活動、災害時にも利用
- ダンスやスタジオなどの利用もできる武道場や、ものづくりの拠点として地域利用も可能な家庭科室、技術室と隣接

考え方 3 : 「地域の魅力」を高める環境整備

- 出井川緑道、敷地西側の並木道、プロムナードを緑の景観でつなぐ計画
- 周辺住宅に調和する低層型ボリューム



【配置図兼 1 階平面図】

ゾーニング計画の考え方

考え方1：「主体的な学び」
を育む教育空間

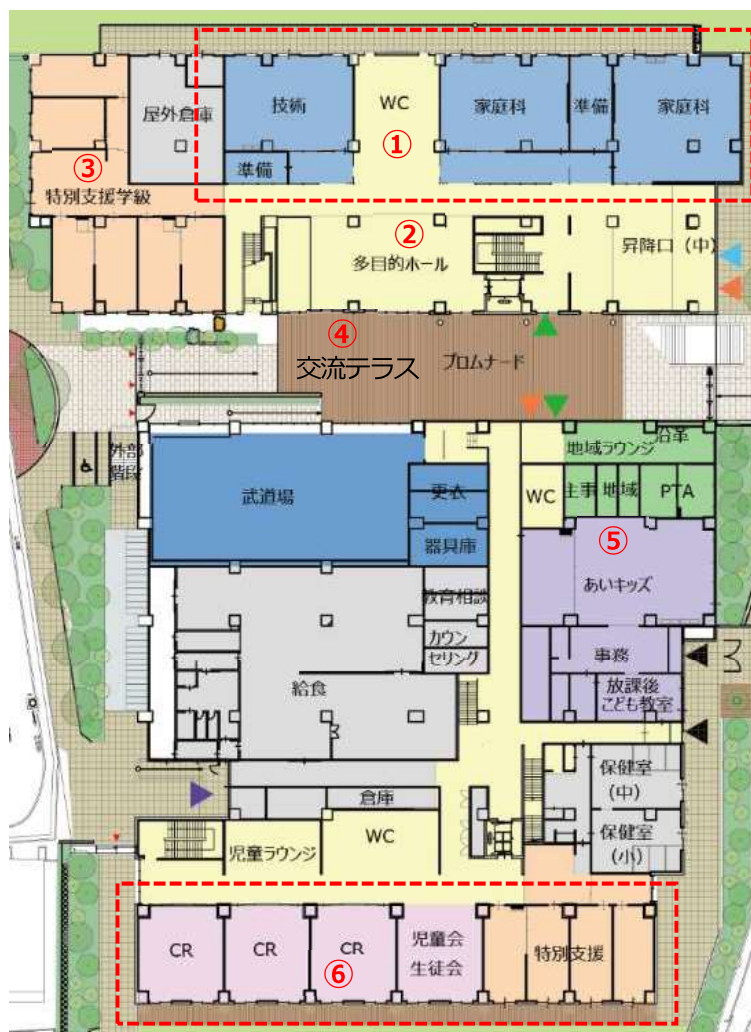
- 学年や教科のまとまりへの配慮
- 学年や教科ごとのオープンスペースの充実

考え方2：「本の魅力」
を高める学校図書館

- 校舎中央部にメディアセンターを配置
- 小中をつなぐ部分全体が本に触れられる空間

考え方3：インクルーシブ/ジェンダーへの配慮

- 異学年や地域とつながる1階に特別支援学級（固定）を配置
- オールジェンダーに配慮したトイレを計画



【1階平面図】

■凡例

- | | |
|-------|----------------|
| 共用部 | あいキッズ/放課後子ども教室 |
| 児童エリア | 特別支援教室 |
| 生徒エリア | 地域ゾーン |
| 特別教室 | 管理ゾーン |

各階平面

[1 階]

- ①【家庭科/技術室】
「つくる」教科ゾーンを形成
- ②【多目的ホール】
地域や学びのエリアの児童生徒との交流スペース
- ③【特別支援学級（固定）】
つくることやスポーツ活動を通して交流を図りやすい計画
- ④【交流テラス】
児童生徒の活動時はゲートを閉じて安全を確保できる計画
- ⑤【あいキッズ】
森の広場や体育館、交流テラスにアクセスしやすい計画
- ⑥【1年生、特別支援学級（固定）】
森の広場に上足で直接外へ出られ、また保健室に隣接



【2階平面図】



【3階平面図】

[2階]

①【国語／社会】

日本を知る教科ゾーンを形成

②【職員室】

地域や児童生徒との交流スペースを計画

③【第1体育館】

地域開放や災害時の避難所利用を想定
式典利用できるステージを設置

④【特別支援教室】

校務センターと近接した位置に計画

■凡例

- : 共用部
- : 児童エリア
- : 生徒エリア
- : 特別教室
- : あいキッズ/放課後子ども教室
- : 特別支援教室
- : 地域ゾーン
- : 管理ゾーン

[3階]

①【英語／社会】

世界を知る教科ゾーンを形成

②【社会とメディアセンター】

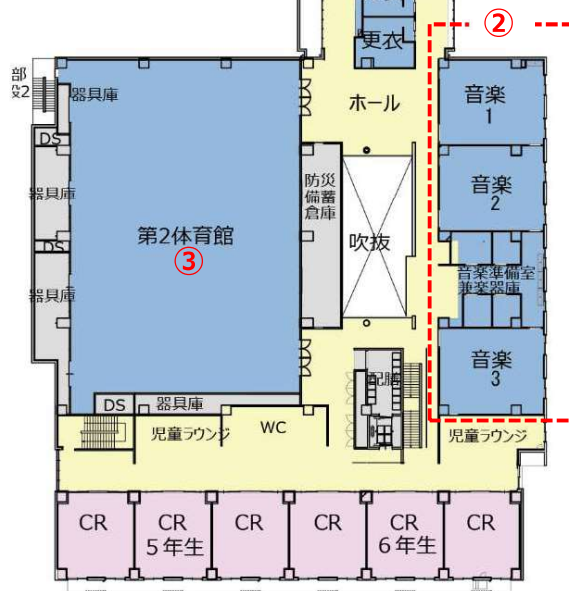
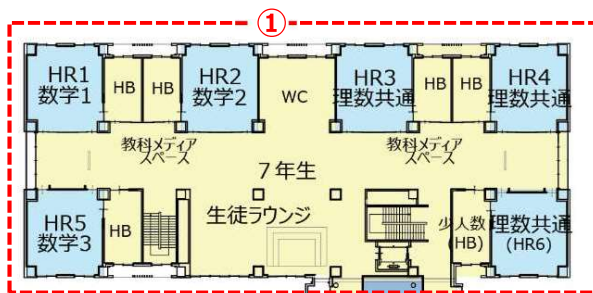
調べ学習の多い社会とメディアセンターを近接

③【メディアセンター】

児童生徒の移動の中心に配置
いつでも本に触れるオープンな図書館

④【美術／図工】

メディアセンターに隣接したアートスタジオとなる美術室、図工室を配置



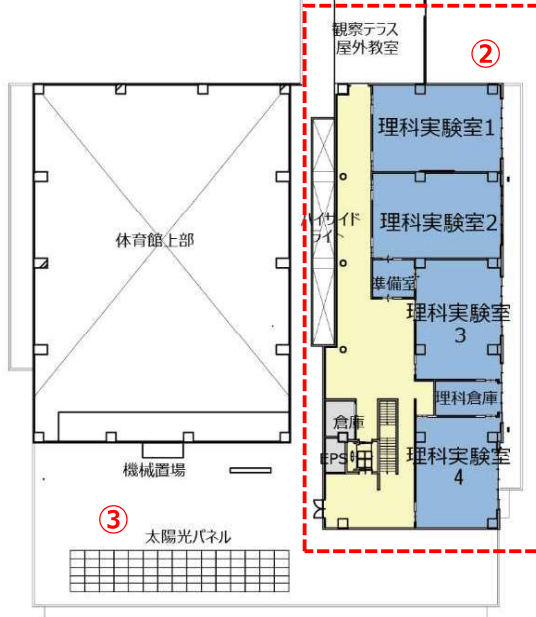
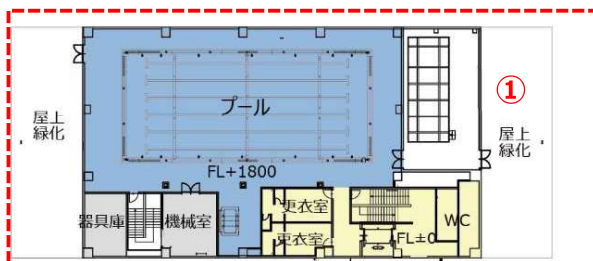
【4階平面図】

[4階]

- ① 【数学/理科】
科学を知る教科ゾーンを形成
- ② 【音楽室】
音に配慮し、アリーナに併設
- ③ 【第2体育館】
中学生利用を想定したアリーナを計画
- ④ 【5, 6, 7年生】
同一階にまとめ、中一ギャップを軽減

■凡例

- 共用部
- 児童エリア
- 生徒エリア
- 特別教室
- あいキッズ/放課後子ども教室
- 特別支援教室
- 地域ゾーン
- 管理ゾーン



【5階平面図】

[5階]

- ① 【屋内プール】
周囲からの視線に配慮
小中にて利用を可能とする計画
- ② 【理科実験室】
屋外に観察テラス（屋根付）を設置
- ③ 【太陽光パネル】
発電容量 30kw

立面計画の考え方

環境配慮【ZEB】 + 街並み形成【近隣】

考え方1：【ZEB】採光重視から絞られた開口

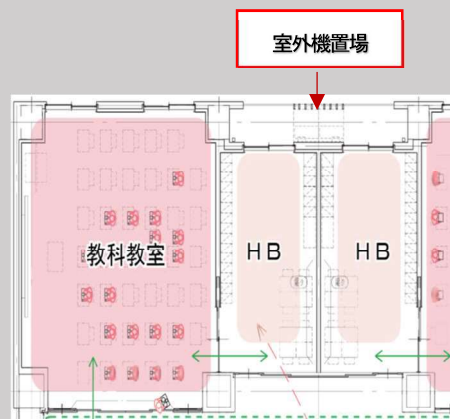
- 横連窓 ⇒ ぽつ窓
- 日射抑制 ●断熱性向上

考え方2：【ZEB】室外機を教室近くに設置

- 配管口スによる ZEB 化

考え方3：【近隣】小さく見せるデザイン

- 近隣住宅地への圧迫感を抑える
- ボリュームを分節化するデザイン



【南西面】

北面

- ぽつ窓の教科教室
- 教室間にバルコニー設置
- 室外機目隠し
⇒ルーバー+壁面緑化



【東面】

南面

- ぽつ窓の教室前に
室外機置兼用の庇
- 室外機目隠し⇒ルーバー

東面

- 緑道と一体的になる
緑のデザイン
- 通学見守りのため職員室
は横連窓
- 地域ゾーンは、見える化
となるガラススクリーン



【北西面】

西面

- 近隣住宅配慮 開口部(少)
- ボリュームを分節する
デザイン

5 工事工程表

～別紙 P11～

年度	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
工事		改築工事・プール解体工事		既存校舎 解体工事	環境整備工事	
中学校	着工▶	既存校舎利用	引越	新校舎利用		◀工事完了
小学校			既存校舎利用	R9 年度 以降引越		
屋外施設		校庭使用不可		南側広場使用可		

区立志村小学校・区立志村第四中学校小中一貫型学校改築 基本設計図書

令和 5 年 6 月

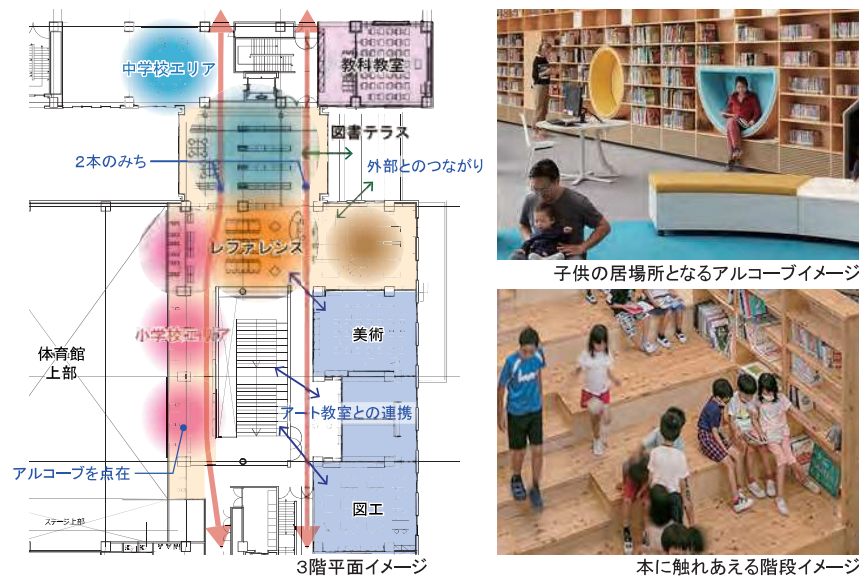
松田平田設計・教育施設研究所 設計共同企業体



南東側から見た鳥瞰イメージ

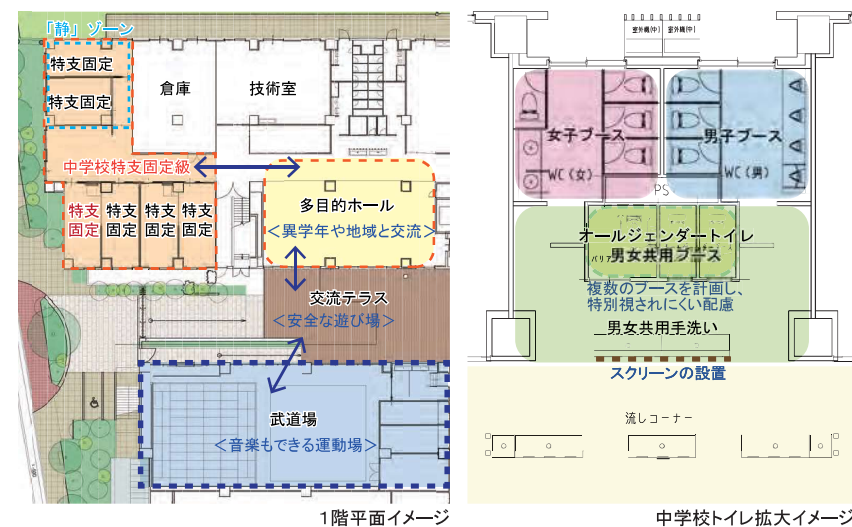
1 小中をつなぐ「本の森」 学校図書館

- **学校の中心に図書館を計画** : 学校と図書館を2本の道でつなぐ
- **いつでも本に触れるオープンな図書館** : 様々な本との出会いの場を工夫
- **教科との連携、移動書架でのサービス** : 絵本のまち板橋としてアート教室と連携



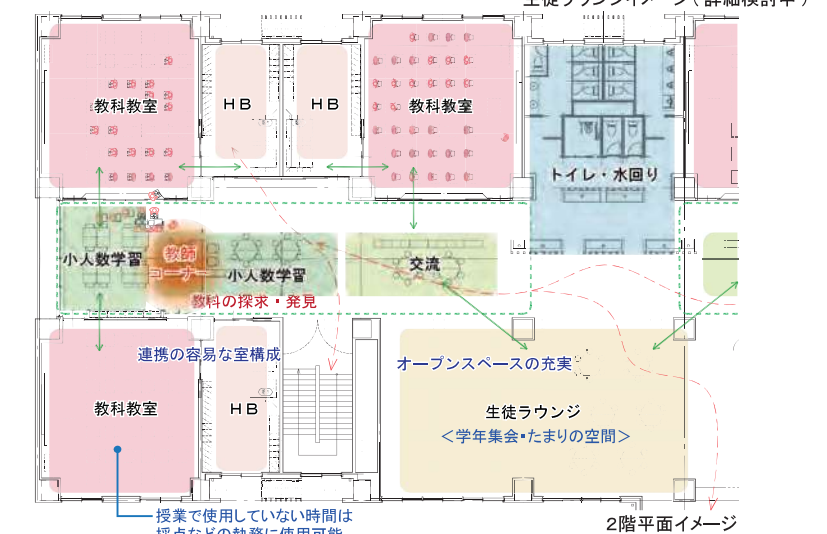
2 インクルーシブ教育への展開

- **通常級や地域とつながる特別支援学級** : ものづくりや運動を通じての交流
- **情緒障害に配慮した「静と動」のゾーニング** : 音に配慮した落ち着いた環境づくり
- **オールジェンダーに配慮したトイレ** : 男女共用個室トイレを複数設置



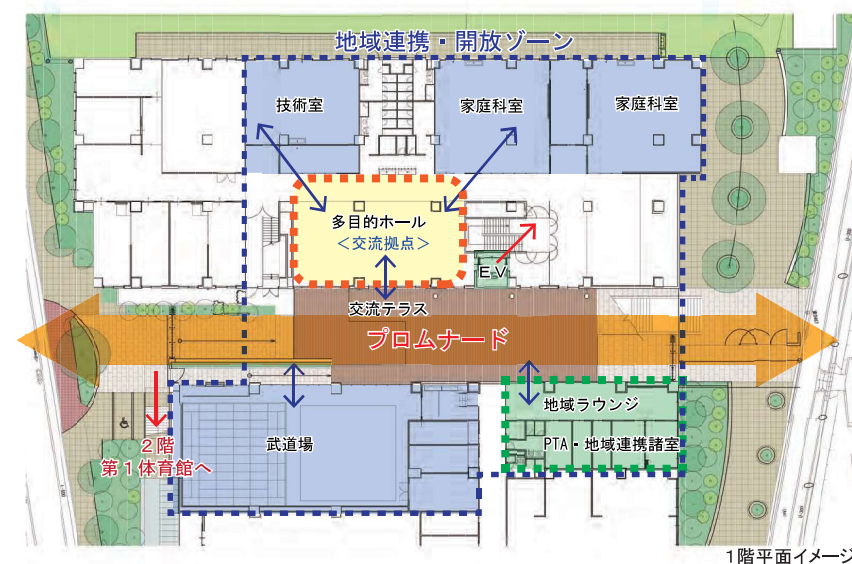
3 「主体的な学び」を育む教育空間

- ・教科センターを進化させた中学校舎
- ・学年ごとのオープンスペースの充実
- ・各学年や教科ごとに教師コーナーを配置



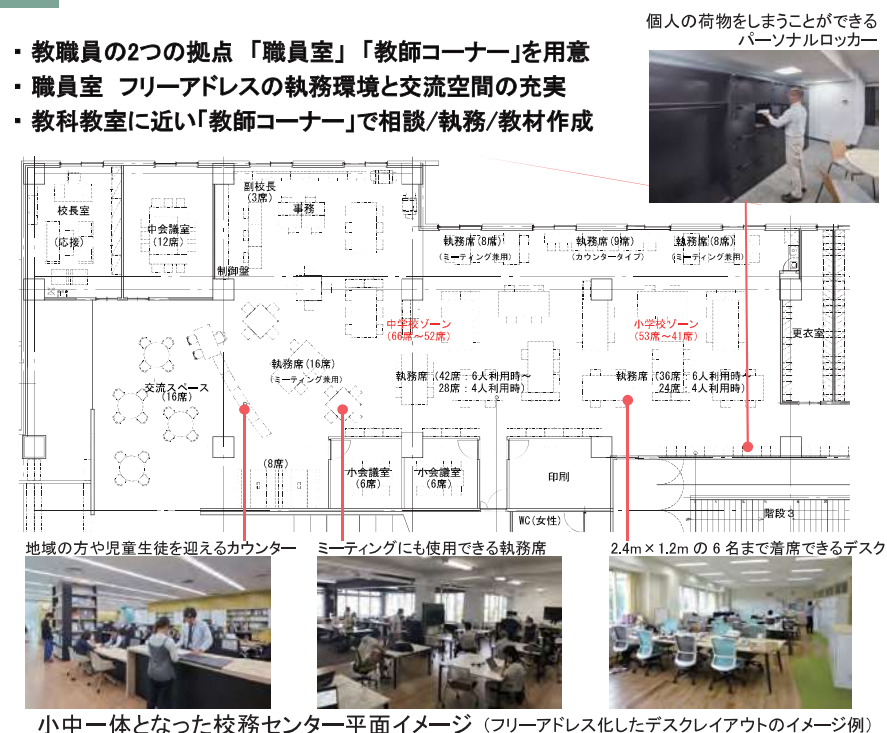
4 「地域連携・地域防災」の拠点となるプロムナード

- ・ **地域開放施設の充実**：プロムナードに面して地域ラウンジ・特別教室を配置
- ・ **日常のふれあいの場**：中学生＋学びのエリアの小学生＋地域が交流
- ・ **防災時の拠点、安心できる避難所**：2階体育館に階段・EVでアクセス



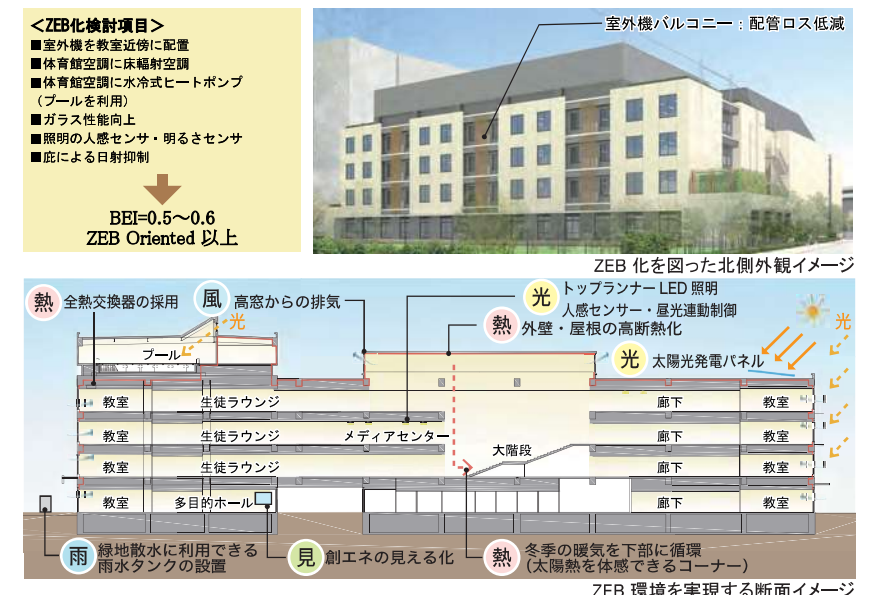
5 教職員の活動場所の充実

- ・教職員の2つの拠点「職員室」「教師コーナー」を用意
- ・職員室 フリーアドレスの執務環境と交流空間の充実
- ・教科教室に近い「教師コーナー」で相談/執務/教材作成



6 ZEB化と環境教育を両立した校舎

- ZEB化を実現する高断熱、低負荷の建築空間
- 配管ロスを極小化した屋内外の機器配置
- 分かりやすく自然に学べる環境教育の実現



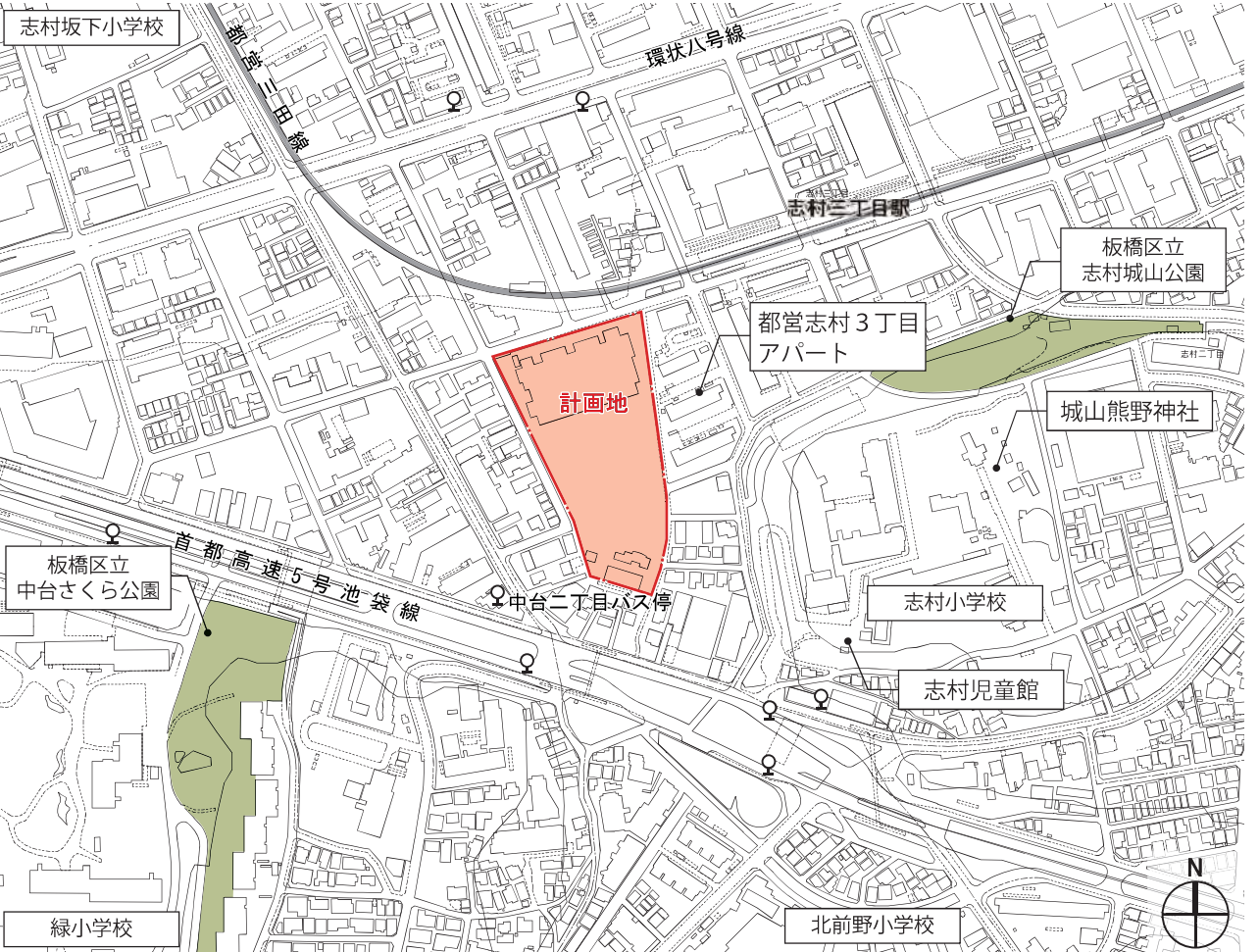
【敷地概要】

敷地情報

住居表示	東京都板橋区志村3丁目15番1号
地名地番	東京都板橋区志村3丁目33番1号他12筆
都市計画区域	市街化区域
用途地域	第一種住居地域
高度地区	第二種高度地区、最高限度30m
防火地域	準防火地域
景観計画区域	一般地域
日影規制	4h,2.5h/4m
敷地面積	約13,833.04㎡ ※敷地測量中(23.06.19時点)
建蔽率	60%
容積率	200%
絶対高さ	30m以下(地区計画)
道路幅員	北側：区道 認定幅員6m（基準法42項1号道路） 西側：区道 認定幅員6m（基準法42項1号道路） 東側：隣地 出井川緑道（暗渠） 南側：隣地 戸建住宅

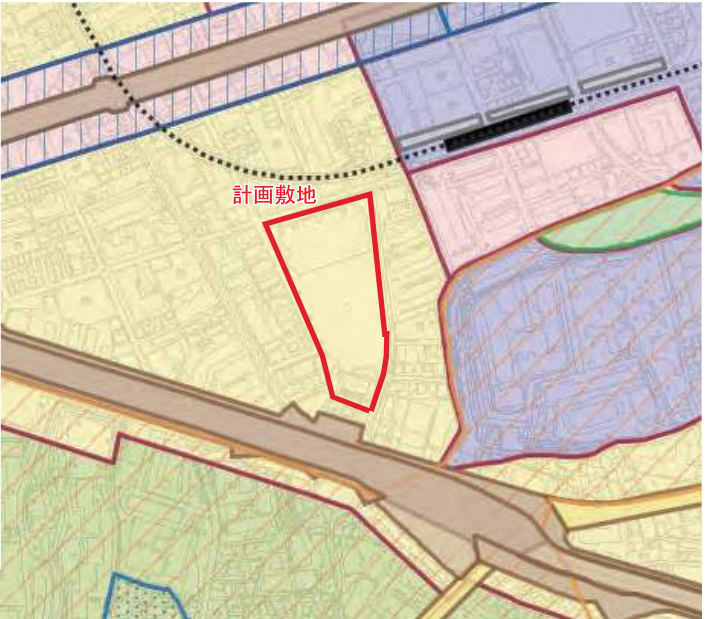
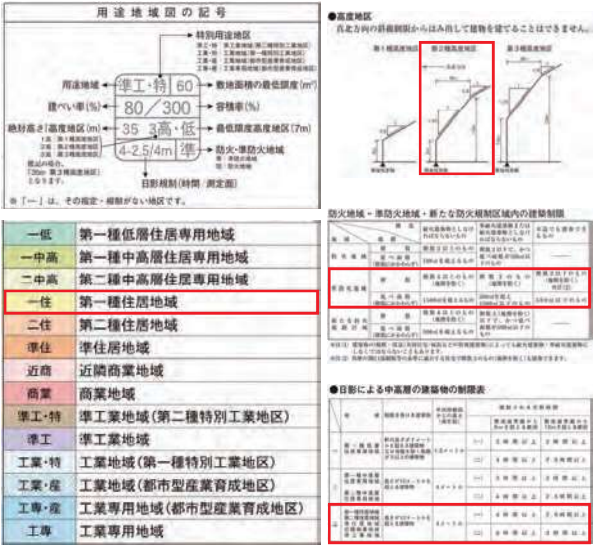
敷地周辺情報

計画敷地は都営三田線志村三丁目駅の南側に位置する。敷地北側を東京都道311号環状八号線、南側は首都高速5号池袋線、東側は出井川緑道が通る敷地である。



都市計画情報

■都市計画図（Ⅰ）用途地域、建蔽率、容積率、高度地区、防火地域、日影規制など



■都市計画図（Ⅱ）都市計画道路、地区計画

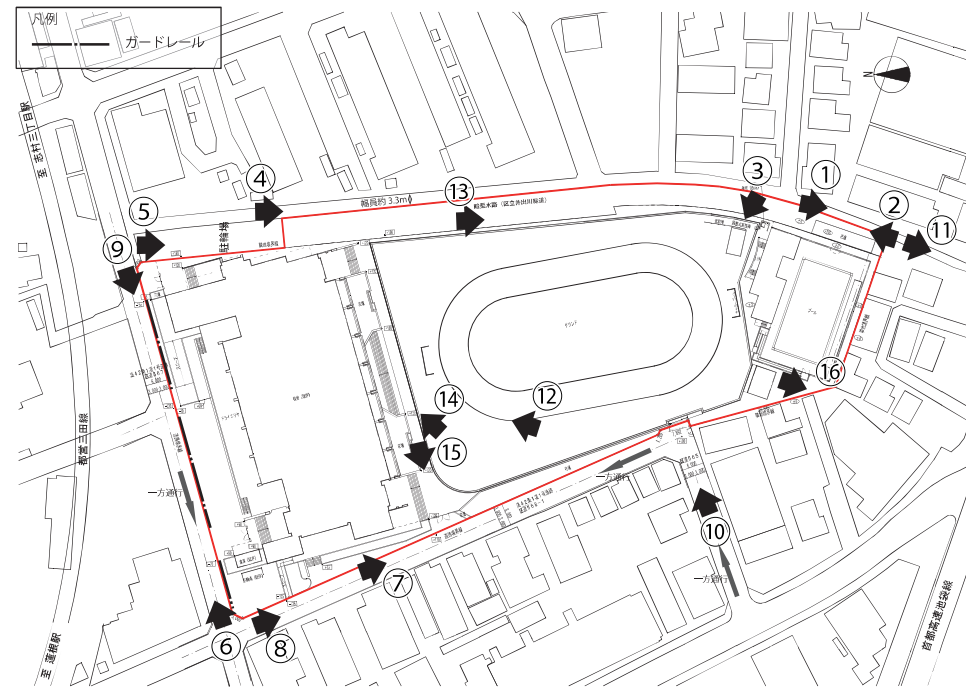


4）防災条件

計画敷地は、「荒川氾濫時の洪水ハザードマップ」（荒川水系荒川洪水浸水想定区域図H28年版より掲載72時間雨量632mmを想定）では、想定される浸水深さが3～5mである。



【敷地現況】



現況写真キープラン S=1:2000



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮



⑯

【建築計画概要】

計画概要・配置計画の考え方

1) 計画規模及び既存校舎面積

棟名称	校舎棟			既存校舎 (志村四中)	既存校舎 (志村小)
	(北棟)	(南棟)	計		
高さ	約23.4m	約24.3m	-	-	-
階数	5	5	-	4	3
耐火性能	耐火構造		-	-	-
構造種別	RC造一部S造		-	RC造	RC造
基礎	既成コンクリート杭		-	-	-
建築面積	約1555㎡	約3130㎡	約4685㎡	-	-
建蔽率	約34%			-	-
床面積(㎡)	R階	-	-	98.17	79.47
	5階	860	815	1,675	-
	4階	1,300	2,768	4,068	1,969.65
	3階	1,300	2,047	3,347	1,580.03
	2階	1,300	2,966	4,266	1,793.16
	1階	1,540	2,908	4,448	1,817.81
	地下1階	-	-	1,263.76	-
	合計	6,300	11,504	17,804	5,237.28
容積率	約130%			-	-

※今後の検討・行政協議等により、数値に変更が生じる可能性があります。

2) 配置計画の考え方

(1) 通学の安全性や敷地の有効活用に配慮した建物配置

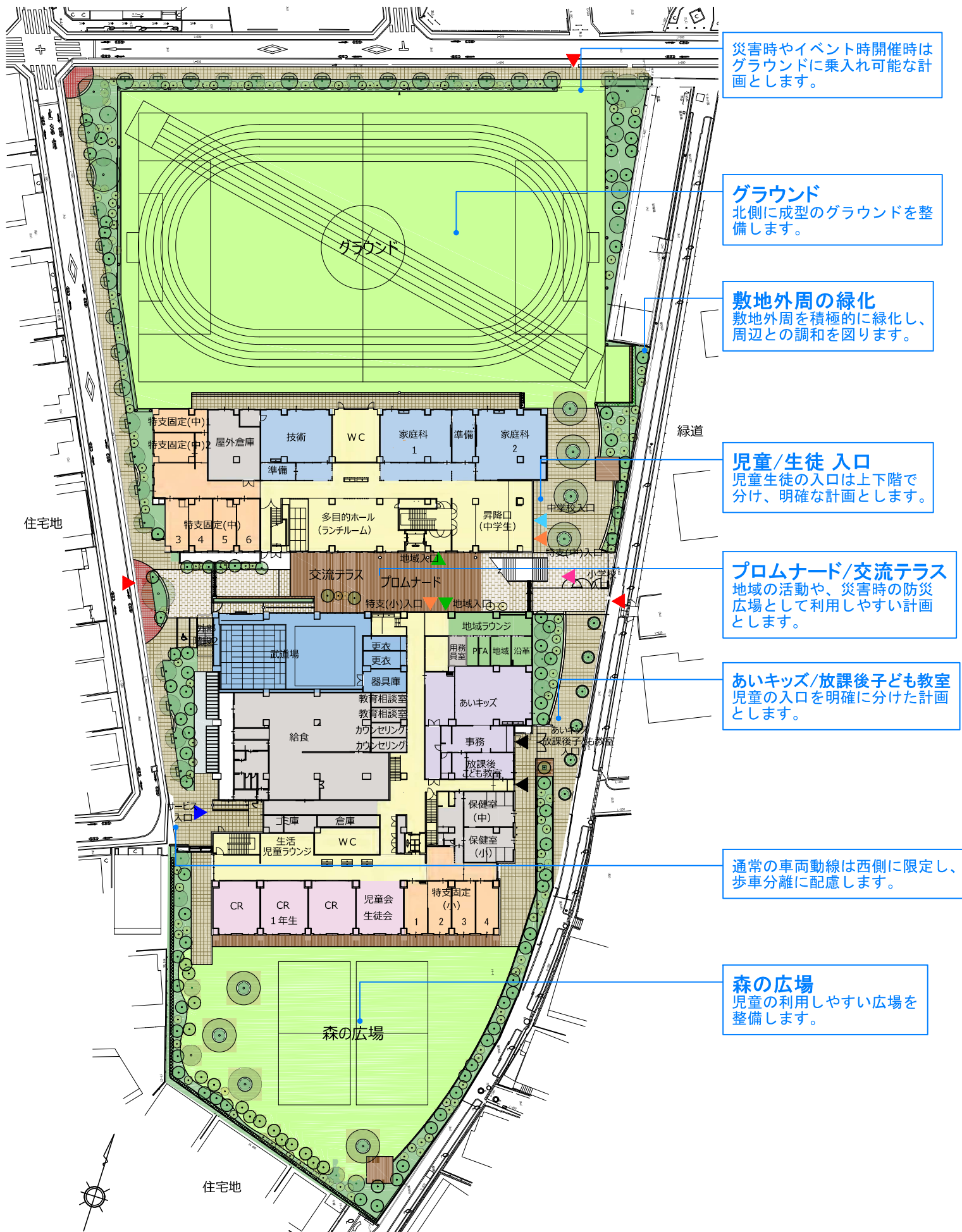
- 敷地中央に校舎を集約して配置することで、北側に整形のグラウンド/南側に森の広場を計画し、敷地の有効活用を図ります。
- 敷地内の車両乗り入れは、給食搬入や来客用の車両動線は西側道路側に限定し、災害時等は北側グラウンドや南側広場への乗り入れ可能な計画とし、歩車分離に配慮します。

(2) 「地域連携/地域防災」の拠点となるプロムナード

- 西側自主管理歩道と東側出井川緑道をつなぐ「プロムナード」を計画し、日常のふれあいの場とします。
- 交流テラス（一部ピロティ空間）を設け、子供たちや地域の活動に加え、災害時に利用しやすい計画とします。
- プロムナードを中心にダンススタジオとしても利用できる武道場や、ものづくりの拠点として地域利用も可能な家庭科室/技術室が隣接します。

(3) 「地域の魅力」を高める環境整備

- 出井川緑道、敷地西側の並木道、プロムナードを緑の景観でつなぐ計画とします。
- 周辺住宅に調和する低層型ボリュームとします。



災害時やイベント時開催時はグラウンドに乗り入れ可能な計画とします。

グラウンド
北側に成型のグラウンドを整備します。

敷地外周の緑化
敷地外周を積極的に緑化し、周辺との調和を図ります。

児童/生徒 入口
児童生徒の入口は上下階で分け、明確な計画とします。

プロムナード/交流テラス
地域の活動や、災害時の防災広場として利用しやすい計画とします。

あいキッズ/放課後子ども教室
児童の入口を明確に分けた計画とします。

通常の車両動線は西側に限定し、歩車分離に配慮します。

森の広場
児童の利用しやすい広場を整備します。

【平面計画(ゾーニング/動線)】

■ゾーニング計画の考え方

(1) 小中をつなぐ「本の森」学校図書館

- ・各フロアからアクセスしやすい3階中央部にメディアセンターを計画します。
- ・いつでも本に触れるオープンな図書館を計画します。

(2) インクルーシブ教育への展開

- ・異学年や地域とつながる1階に特別支援教室(固定)を配置します。
- ・オールジェンダーに配慮したトイレを計画します。

(3) 「主体的な学び」を育む教育空間

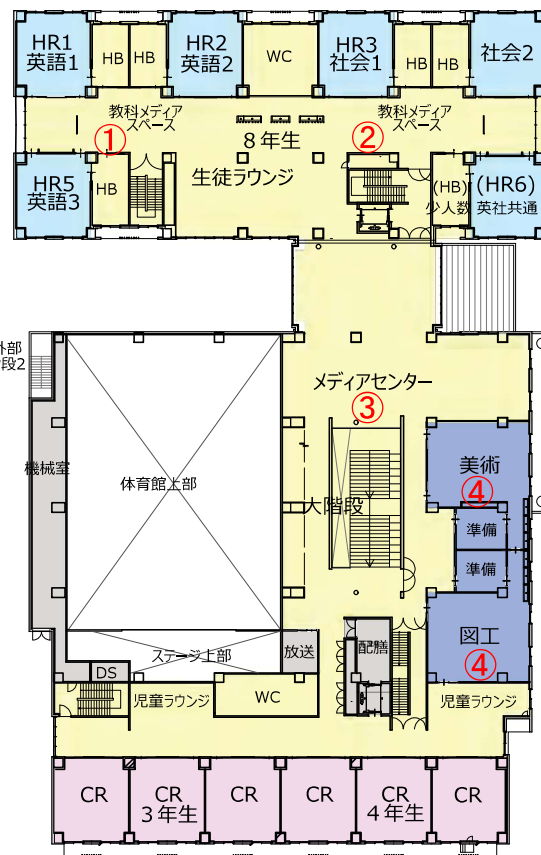
- ・学年や教科のまとまりに配慮したゾーニング計画とします。
 - ・学年や教科ごとのオープンスペースを充実させた計画とします。
- (各学年や教科ごとに教師コーナーを設置)

<1F>

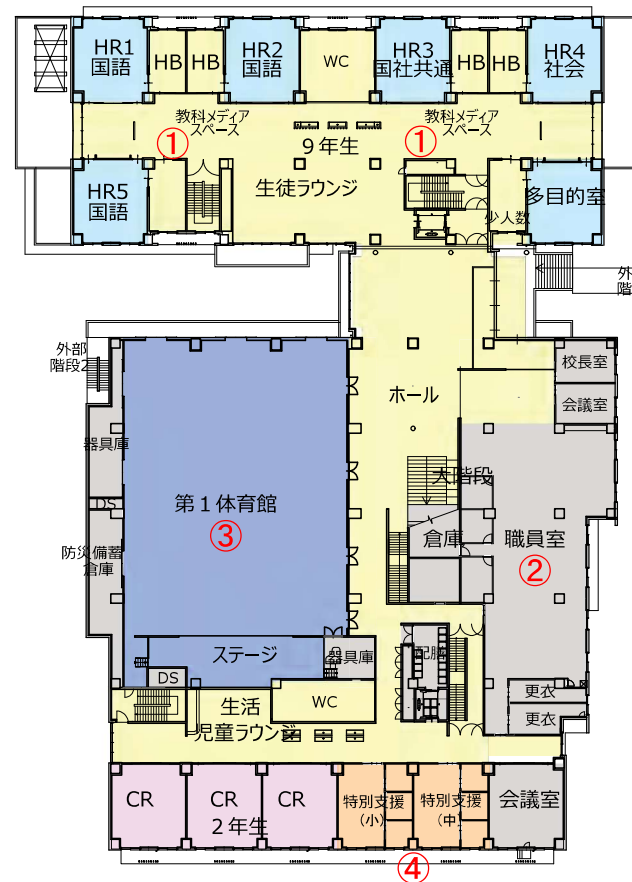
- ①家庭科/技術：「つくる」を知る教科メディアスペースを計画
- ②多目的ホール：地域や学びのエリアの児童生徒との交流スペース
- ③特支固定(中)：つくることやスポーツ活動を通して交流を図りやすい計画
- ④交流テラス：児童生徒の活動時はゲートを閉じて安全を確保できる計画
- ⑤あいキッズ：森の広場や体育館にアクセスしやすい計画
- ⑥小学(1)、特支固定(小)：森の広場に上足で直接出られる計画。保健室に隣接。



1階平面図



3階平面図



2階平面図

<3F>

- ①英語/社会：世界を知る教科メディアスペースを計画
- ②特に調べ学習と関わるの大きい社会をメディアセンター上部に配置
- ③児童生徒の移動の中心にメディアセンターを配置<小中をつなぐ「本の森」いつでも本に触れるオープンな図書館>
- ④絵本のまち板橋に相応しい図書館に隣接してアートスタジオ(美術/図工)を配置



5階平面図

<5F>

- ①屋内プール：周囲からの視線に配慮。
- ②理科実験室：小中からアクセスしやすい位置に計画。

<2F>

- ①国語/社会：日本を知る教科メディアスペースを計画
- ②校務センター：フリーアドレス化した小中連携しやすい計画
- ③第1体育館：地域開放や災害時の避難所利用を想定式典利用できるステージを設置
- ④特支通級(小)(中)：校務センターから目の行き届き易い位置に計画



4階平面図

<4F>

- ①数学/理科：科学を知る教科メディアスペースを計画
- ②音楽室：小中学生が合同練習も可能な計画
- ③第2体育館：小学校高学年も利用できるスポーツ用アリーナを計画
- ④5/6/7年生を4階にまとめ、中1ギャップに配慮した計画

■凡例

- 黄色：共用部
- ピンク：児童エリア
- 水色：生徒エリア
- 濃青：特別教室
- 紫：あいキッズ/放課後子ども教室
- オレンジ：特別支援教室
- 緑：地域ゾーン
- グレー：管理ゾーン

【平面計画（ゾーニング/動線）】

■動線計画の考え方

＜児童動線＞

- 児童用昇降口は2階に設ける計画とし、近接して職員室等を配置し、目の届きやすい計画とします。
- 各学年の教室へは、昇降口から大階段を利用することで、明かな動線とします。

＜生徒動線＞

- 昇降口は1階に設ける計画とし、児童用動線と分ける計画とします。
- 各教科教室へは、2つの階段を利用し行き来しやすい計画とします。

＜教職員動線＞

- 職員室は2階に設ける計画とし、各教室にアクセスしやすい学校の中央部に配置します。
- 各教科エリアに教師コーナーを計画し、教員の活動場所を作ることによって授業準備と生徒の相談対応のしやすさに配慮した計画とします。

＜来校者動線＞

- 来校者は2階昇降口を利用する計画とし、職員室の受付にスムーズにアクセスできる計画とします。

＜地域利用者動線＞

- 地域玄関は1階プロムナードに面して設け、地域開放のある室は建物中央に集約して計画します。

＜サービス動線1（給食）＞

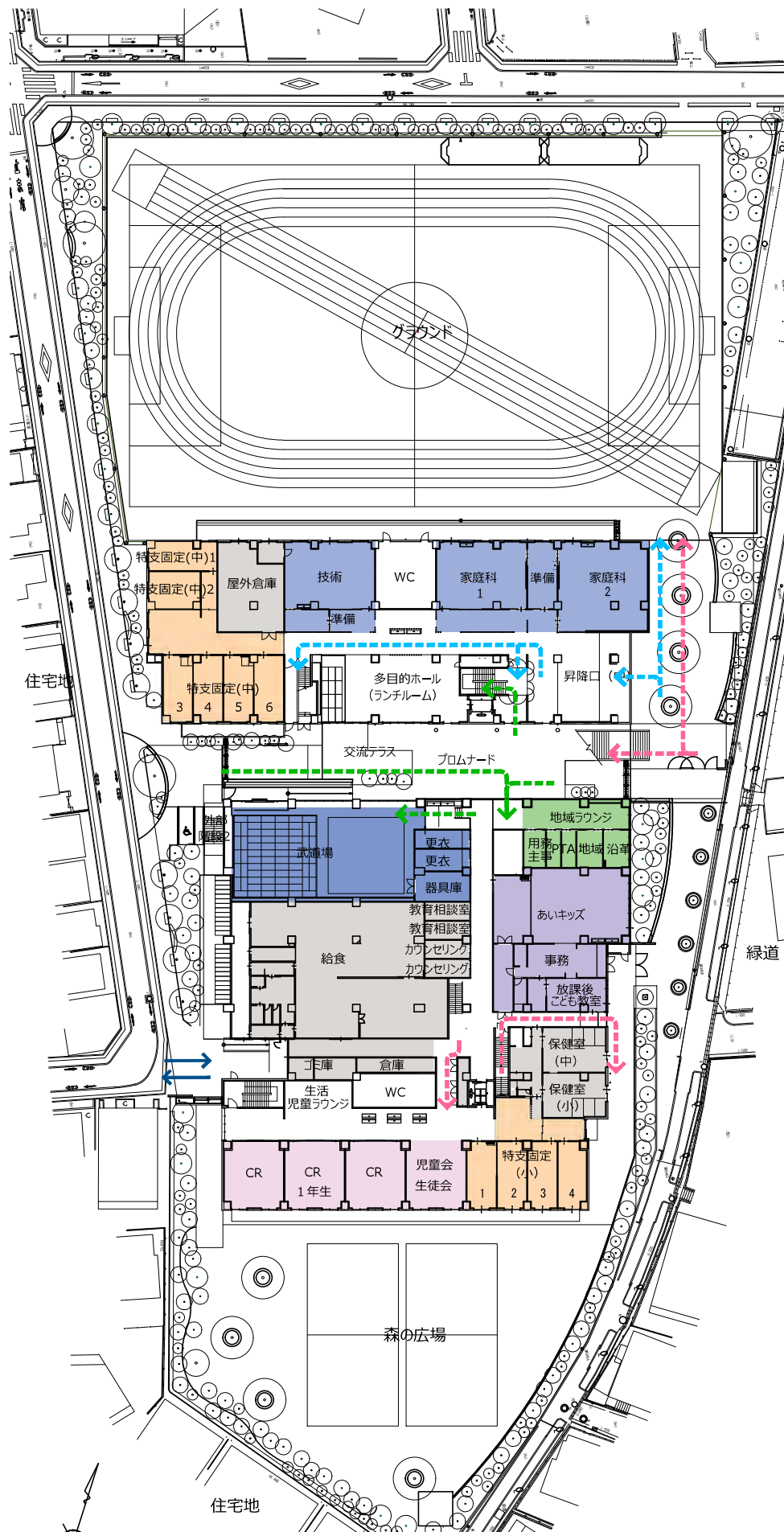
- 給食車両は敷地西側からのアクセスとし、児童生徒動線との歩車分離を図ります。
- 配膳台は職員室に近いEVを使用することで、普通教室への配膳のしやすさに配慮します。

＜サービス動線2（ゴミ収集、備蓄）＞

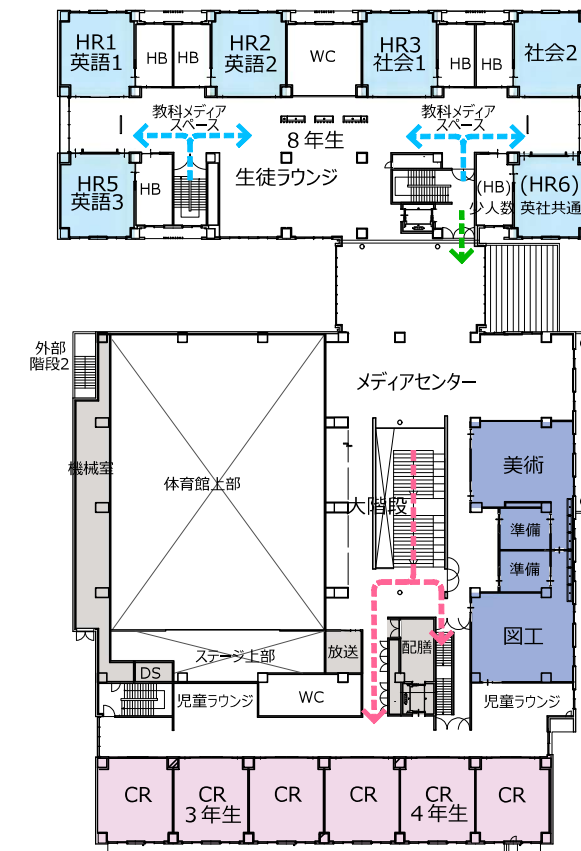
- 車両含む出入口は敷地西側からのアクセスとし、児童生徒動線との歩車分離を図ります。
- ゴミ収集等の動線は、明確に管理用の動線として分離し、児童生徒の日常利用に影響のないように配慮します。

■凡例

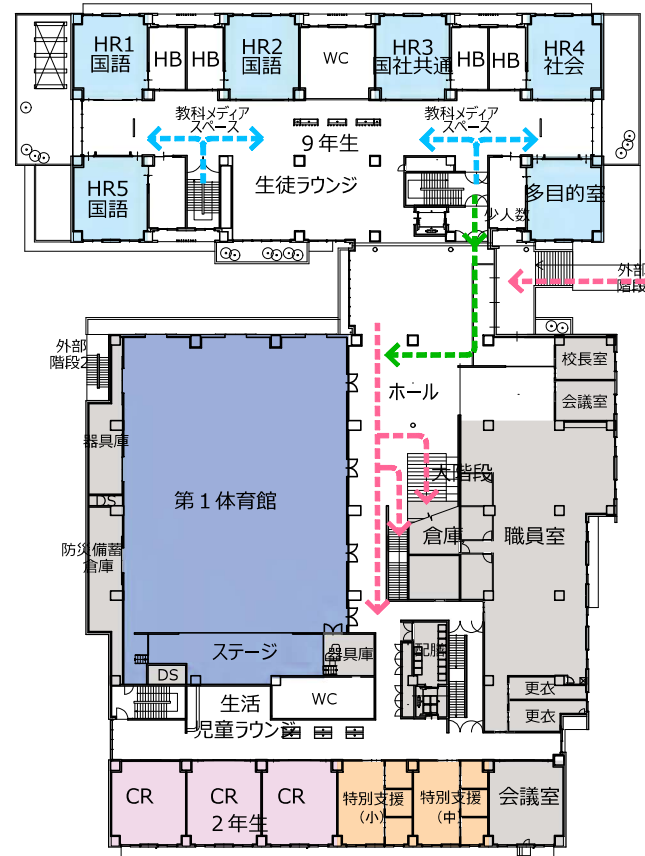
- 児童動線
- 生徒動線
- 地域利用者動線
- 車両動線



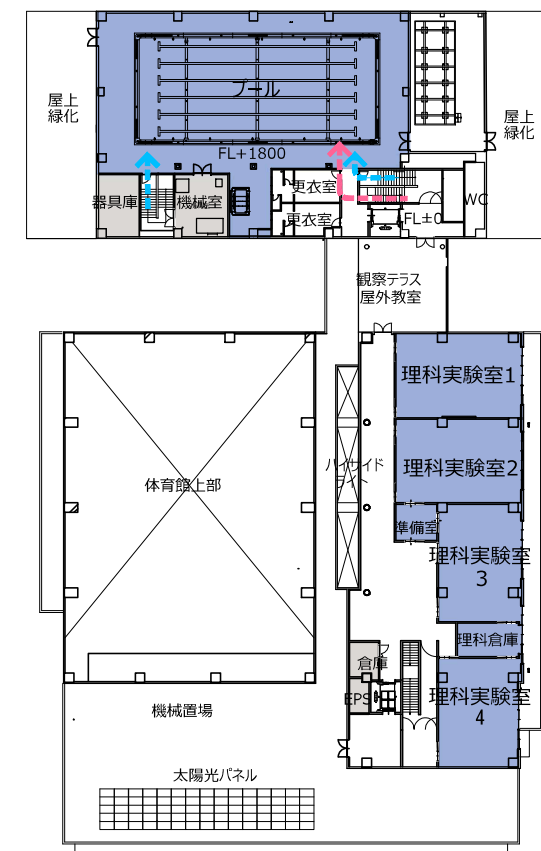
1階平面図



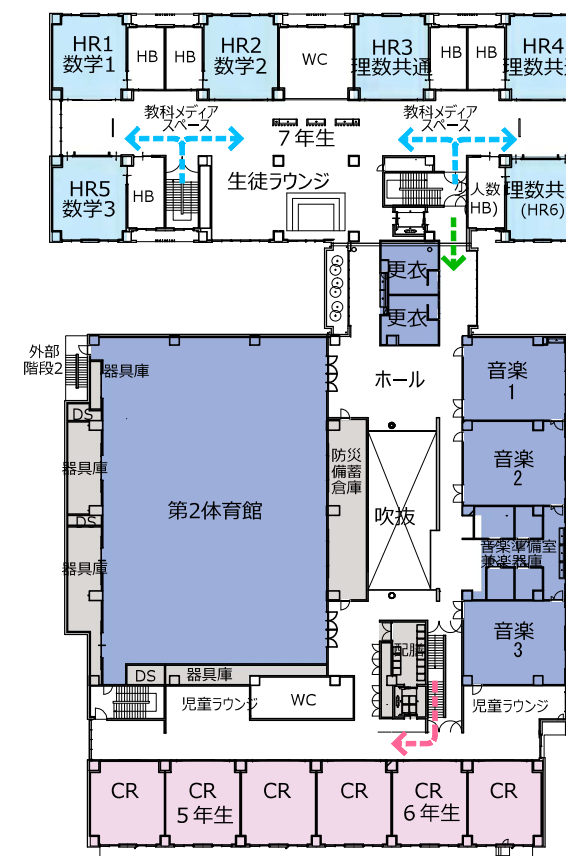
3階平面図



2階平面図



5階平面図



4階平面図

【立面計画・外装計画】

外装デザインの考え方

環境配慮【ZEB】 + 街並み形成【近隣】

1 【ZEB】絞られた開口＋日射抑制

- ・日射抑制
- ・断熱性向上

2 【ZEB】室外機バルコニーを教室近くに設置

- ・配管ロスの低減 ⇒ BEI値 約0.05低減
- ・各階室外機バルコニーを計画

3 【近隣】小さく見せるデザイン・4階建てに見せる

- ・近隣住宅地への圧迫感を抑える
- ・住宅スケールに合わせ、ボリュームを分節化するデザイン

- 北面** ホームベースとトイレ前にバルコニーを設置
- ・バルコニーでボリュームの分節化を図る
 - ・室外機目隠しスクリーンとしてルーバー＋壁面緑化を設置
 - ・教室中央の内壁をホワイトボードとし、グループ学習に活用



- 西面** 開口部を極力設けない
- ・視線、騒音配慮（戸建て住宅に面する）
 - ・ボリュームを分節するデザイン

- 東面** 緑道と一体的に緑のデザイン
- ・昇降口までのアプローチ空間
 - ・2階職員室を緑のカーテンを設置
 - ・1階地域ゾーンはガラススクリーンとし、外部から活動が見える



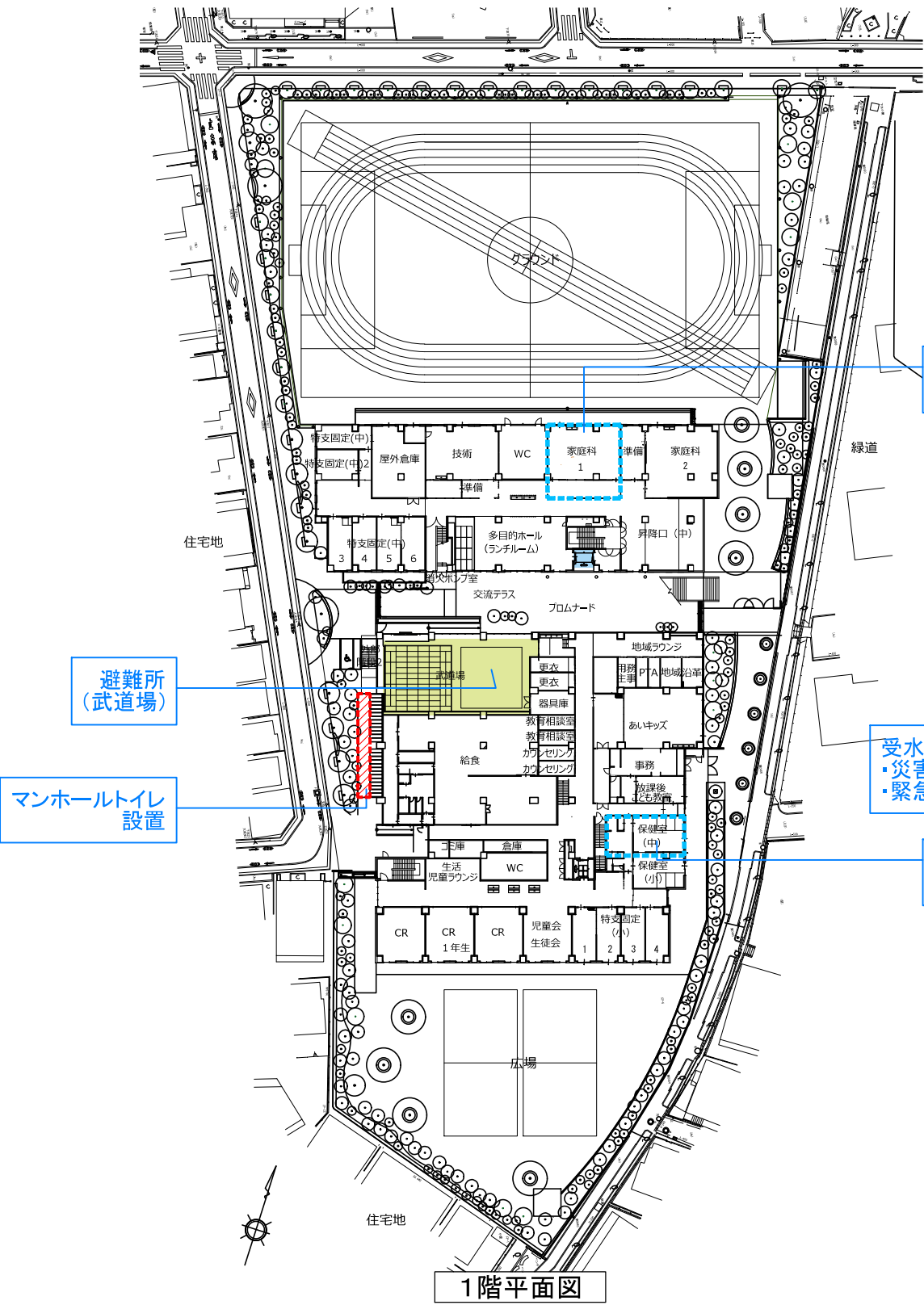
- 南面** 教室前に水平庇兼バルコニーを設置
- ・日射遮蔽とメンテナンスバルコニーの機能
 - ・室外機目隠しスクリーンとしてルーバーを設置
 - ・教室中央の内壁をホワイトボードとし、グループ学習に活用

避難所としての考え方

1) 基本方針

- ・避難所となる学校には、避難所の機能維持（電気・給水）をインフラ途絶時に一定期間、一時収容者へ機能維持できる設備を設けます。
- ・当該敷地は板橋区洪水ハザード MAP（平成28年5月改定版）により、荒川氾濫時に浸水想定範囲となっています。

- ・太陽光発電パネルにより停電時に使用できる太陽光発電設備系統の自立運転コンセントを計画します。（昼間晴天時に使用可能）
- ・上水道途絶時でもプール水利用により体育館の男女トイレ及びバリアフリースイレを利用できるようにすると共に、マンホールトイレへの給水可能な計画とします。
- ・飲料水は、受水槽に貯留されてる水を利用します。
- ・災害時の避難場所として利用できる体育館(小)及び防災備蓄倉庫/職員室/受水槽/受電設備を水害時も安心な2階以上に計画します。
- ・防災備蓄倉庫は避難所となる体育館に隣接して計画します。



災害時の炊き出しに利用
(家庭科室)

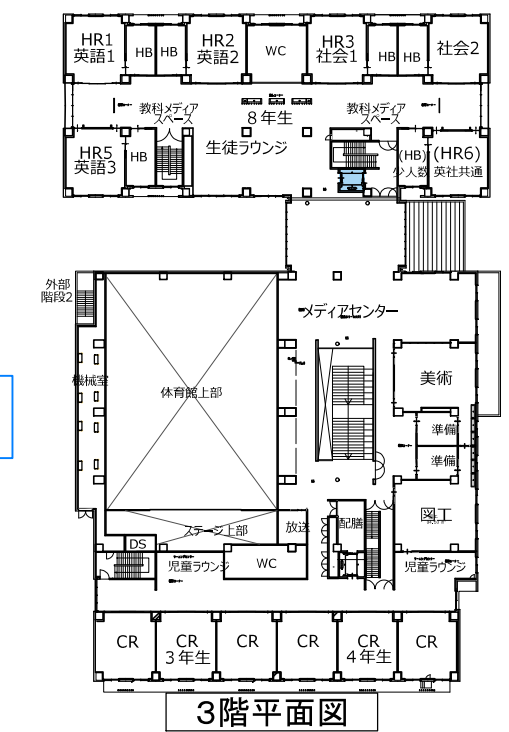
避難所
(武道場)

マンホールトイレ
設置

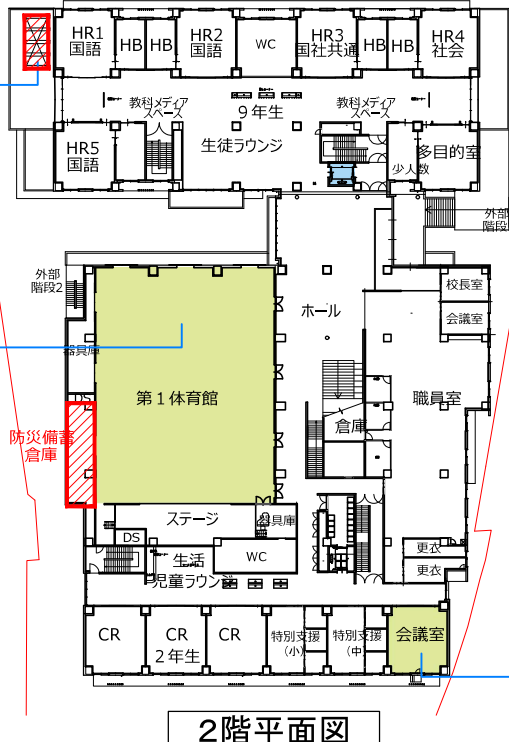
受水槽
・災害時給水可能
・緊急遮断水栓対応

救護対応
(保健室(中))

避難所
(体育館(小))

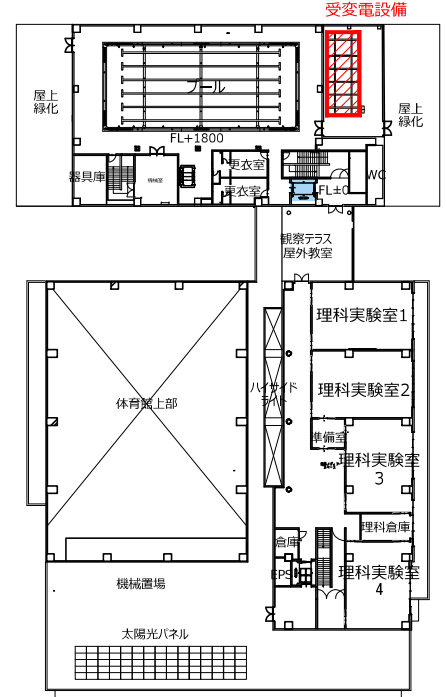


3階平面図

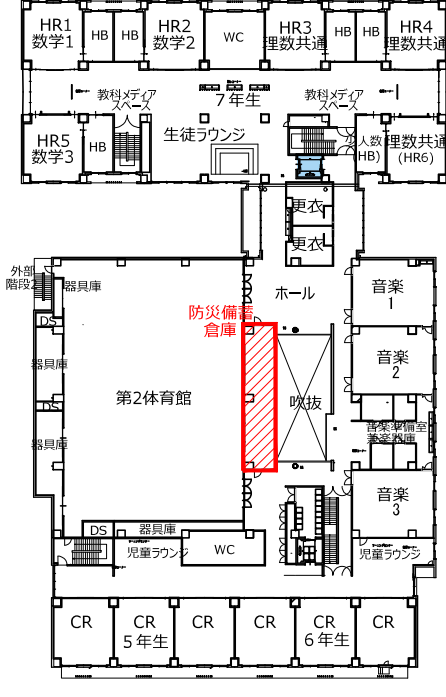


2階平面図

災害対策本部
(会議室)



5階平面図



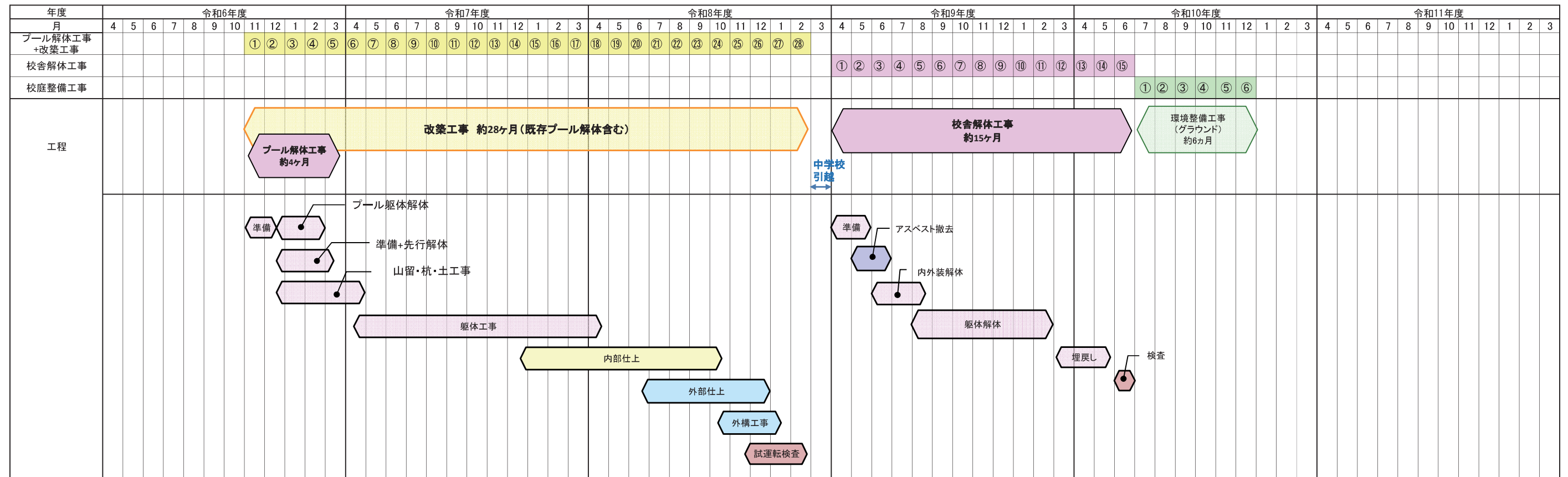
4階平面図

※今後の行政協議によっては、計画内容に変更が生じる可能性があります。

工事工程表

1) 工程設計条件

- ・工事は、解体・新設とも週5日稼働（土日休日：4週8休）にて算定しています。
- ・既存校舎解体を全て行う想定としています。
- ・プール解体と改築工事は一括発注で実施される条件での検討となります。
- ・工期期間は想定であり、解体方法やその他の要因にて変更の可能性があります。
- ・外壁および内部に飛散性のアスベストはないものとして、工程算出しています。
- ・備品・直営工事は含まない工程としています。



※現時点での想定のため、変更の可能性があります。